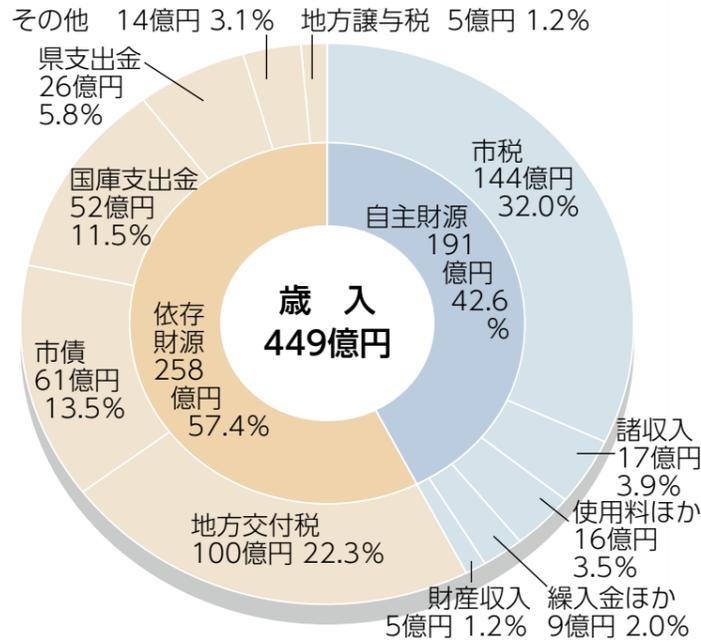


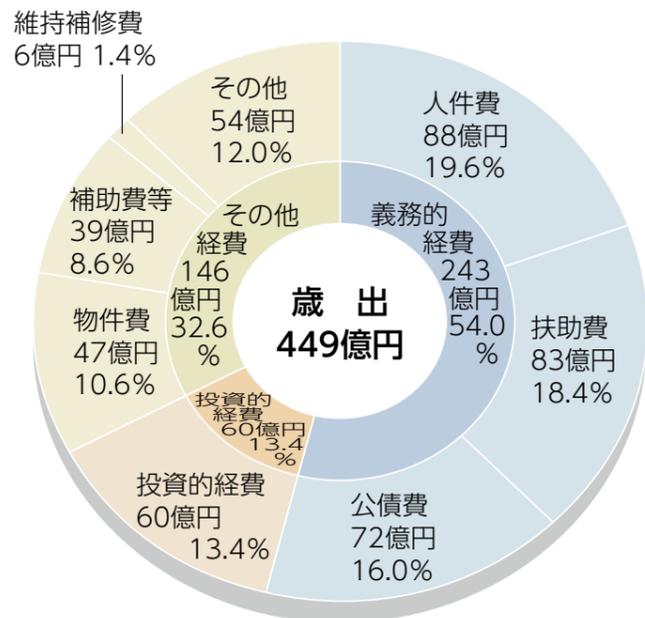


一般会計(歳入)



※その他は、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金です。

一般会計(歳出)



※その他は、積立金、出資金・貸付金、繰出金です。



年収450万円の
家計に例えると

今年度の市の予算を、年収450万円の家計に例えてみました。国や県からの援助などを活用するとともに、できる限り食費(人件費)を抑え、借金の返済(公債費)に充てています。

収入 (単位:万円)

給料(市税)	144
副収入(使用料・手数料など)	39
援助(地方交付税、国庫・県支出金など)	198
借金(市債)	60
貯金の取り崩し(繰入金)	9
合計	450

支出 (単位:万円)

食費(人件費)	88
光熱水費(物件費、維持補修費)	54
医療費(扶助費)	83
自宅の改修・家電製品の購入費(投資的経費)	60
仕送り(繰出金、補助費など)	93
借金の返済(公債費)	72
合計	450

一般会計 448億8,600万円
特別・企業会計 312億4,600万円
合計 761億3,200万円

財政課 ☎0848・676028

今年度は、防災・減災対策や適正規模による学校の統廃合、学校施設の耐震化、新市建設計画に掲げた事業などを着実に実施するとともに、地域経済の活性化を積極的に推進します。

今年3月に完成した道の駅「みはら神明の里」を拠点とした観光交流、市民参加による「おもてなしのまち」の醸成、ふるさと大使の活用による情報発信の拡大などを行います。また、定住促進を含めた市の活性化をめざすとともに、訪日外国人を対象にした観光のメニュー化に取り組み、国際交流の推進を図ってまいります。

一方、定員管理計画や財政計画などに基づき、引き続き行政改善に向けた取り組みを進め、次世代へ負担を先送りすることのないよう、責任ある行政運営を行なっていきます。



三原市長 五藤康之

平成24年度の予算総額は、昨年度と比べ、15億4,700万円(2.1%)増加し、85の新規事業(10億6,100万円)を掲げています。

ここでは、今年度の予算について、新規事業などを中心に、長期総合計画の6つの柱に沿って紹介します。

ここが重点！ 今年度の予算

学校環境の整備



▲昨年度、耐震補強工事をした西小学校の校舎

●学校適正配置の推進

10億7,380万円

協議が整った小学校から、計画的に統廃合を進めます。来年4月の統合に向け、新たな学校の整備や閉校する学校での行事などを行います。

●来年4月に統合する学校

- ▼小坂・高坂小Ⅱ(仮称)沼北小
- ▼八幡・久井・久井南・羽和泉小Ⅱ(仮称)久井小
- ▼神田・神田東・大草・和木・榎梨小Ⅱ(仮称)天和小

●学校施設の耐震補強

1億9,600万円

耐震診断の結果が、基準値以下の校舎などについて、補強工事の設計を行います。

防災・減災対策の充実

●防災対策

1,580万円

東日本大震災を受け、国や県で津波による被害区域などの見直しが行われています。見直しの結果に基づき、改めてハザードマップを作成し、配布します。

また、災害時に情報を一斉伝達する手段の整備に向けて、基本計画を策定します。さらに、住民参加型の防災訓練を開催する支援や、小・中学校の屋内運動場に非常用発電機を配備します。



▲地域住民が参加し、津波からの避難を検討(糸崎 松浜地区)

観光・交流の活性化

●観光戦略プランの策定

250万円

平成29年度に三原城築城450年祭を開催することを含めた、観光まちづくりの指針を策定します。

●国際交流の推進

500万円

スポーツ施設や医療施設など、市の施設を活用して訪日外国人を対象にした観光のメニュー作りを行います。また、外部の有識者などを加えた国際交流推進協議会を設立します。



▲平成29年度に築城450年を迎える三原城跡

インタビュー

余越 扶美子さん
(糸崎七丁目)

防災無線や防波堤などの整備を望みます。地域住民も危機感を持って訓練を行うなど、行政の取り組みと一緒に、日ごろから災害に備えておくことが大切だと思います。

人がふれあい、ともに参画するまち



男女共同参画の推進

373万円
新たなパンフレットを作成するほか、人材育成や人材リストの作成などを行います。

協働のまちづくりの推進

743万円
健康・環境・教育の分野で、市と協働で取り組む事業の経費を交付します。また、設立して間もない団体への支援や、市民協働ホームページの充実などを行います。

住民組織の活動支援費補助

1,964万円
地域課題の解決や、地域活性化などに取り組む住民組織に補助金を交付します。



インタビュー

西上忠臣さん
(港町一丁目)

人と人が混ざり合うまちになってほしいですね。若い人も高齢の人も、自ら動き出そうという気持ちになれるきっかけやネットワークづくり、支援の充実が、活気あるまちづくりの輪を広げていくと思います。

広報みはらの電子ブック化

25万円
市ホームページに掲載している広報みはらを電子ブック化し、情報発信機能を高めます。

県立広島大学での研究開発への助成

500万円
時代に対応した新しい産業を創出し、商品開発に結びつく研究や開発などに助成します。

少年少女海外交流研修

404万円
子どもたちが国際理解を深め、国際感覚を習得できるよう、シンガポールへの海外派遣研修と日本での交流活動を行います。

生涯学習の推進

732万円
子どもを対象に、自然・歴史・産業などの体験学習を行う、三原ふるさと子ども博士講座を開催します。また、老人大学のトイレを一部洋式化します。

特別支援教育

7,366万円
臨床心理士などの資格を持った相談員を新たに一人配置し、学校などへの相談・支援業務を行います。また、介助員や支援員などを引き続き配置します。

芸術文化センターポポロの管理運営

1億5,407万円
7月に「歌舞伎フォーラム公演」、〔仮称坂本龍一M.I.H.A.R.A.音楽の学校〕を開催するなど、管理運営を行います。

企画展覧会の開催

4月に「サクラアートミュージアム

人を育む教育・文化のまち



インタビュー



前 裕幸さん、千波さん、実采さん、圭一郎さん、咲玖良さん(久井町)

B&Gのプールや体育館がきれいになると、子どもたちがすごく喜ぶと思います。宇根山天文台の整備も含め、大人も子どもも利用しやすい施設になるといいですね。

所蔵クレパス画展」9月に「平成盛の時代と瀬戸内海」、11月に〔仮称〕大内基康コレクション 書の名品展」などを開催します。1,344万円
B&G海洋センターの大規模改修
B&G海洋センター(久井町)のプールと体育館を改修します。3,030万円

文化財の保護

5,671万円
県史跡の梅木平古墳(本郷町)の防災工事や三原城跡の周辺整備などを行います。

宇根山天文台の施設整備

520万円
プラネタリウムのデジタル化などを行います。520万円
★帝人用地へ南小学校・統合保育所・武道館を整備する事業については、工事費用を今年度の補正予算へ計上する予定です。



健やかに暮らせる安らぎのまち



運動普及リーダーとして、皆さんの健康づくりのお手伝いをしています。誰もが気軽に歩けるようなウォーキングコースを整備するなど、健やかに暮らすために予算を活用してほしいです。

災害時要援護者の避難支援

災害時要援護者の避難を支援するシステムの保守管理などを行います。
.....1,222万円

介護予防事業

パワーリハビリ機器を購入し、サン・シープラザの機能訓練室内に設置します。また、住宅改修費の一部を補助します。
.....680万円

放課後児童の健全育成

放課後児童クラブ(22箇所)の運営を行います。また、学校の統廃合に伴い、久井・大和の児童クラブを移転・改修します。
.....1億4,128万円

認定こども園の建設

(仮称)久井認定こども園の建設に向けた設計を行います。
.....780万円

児童手当の支給

中学生以下の子どもに、手当を支給

インタビュー

光宗 千奈美さん (新倉二丁目)

運動普及リーダーとして、皆さんの健康づくりのお手伝いをしています。誰もが気軽に歩けるようなウォーキングコースを整備するなど、健やかに暮らすために予算を活用してほしいです。

します。

※国の動向により変更する場合があります。
.....16億5,819万円

母子保健・予防接種事業

妊婦や乳幼児に各種の健康診査を実施するとともに、予防接種の無料実施や一部補助などを行います。
.....3億3,900万円

健康づくりの推進

新たな健康みはら21計画・食育推進計画を策定するとともに、宮浦公園内に健康遊具を2基新設します。また、健康相談、健康診査、ウォーキング大会、巡回ラジオ体操などを実施します。
.....1億4,006万円

発達障害児者への支援

福山市に設置される、こども発達支援センターを共同運営するなど、発達障害児者への支援体制を構築します。
.....1,349万円



▲企業が立地する三原西部工業団地

インタビュー

石路正純さん (大和町)

地元の若者が戻ってきて、一緒に農業ができればいいですね。そのために、就農や経営など長期的な支援を望みます。農業を通して、地域の活性化につながればと思います。

活力ある産業のまち

アグリ三原24事業・ウツシー活用モデル事業

新規の就農者を育成・支援するとともに、ばれいしょの生産に係る栽培資材費などの一部を補助します。さらに、牛を活用して耕作放棄地を解消するモデル事業を実施します。
.....1,045万円

農業振興施設の管理

蔵宗多目的集会所などへ小型浄化槽を設置するなどの施設整備を行います。
.....801万円

農業者戸別所得補償制度の推進

制度の推進に必要な経費を農業再生協議会に対して補助します。
.....1,278万円

有害鳥獣の駆除対策

狩猟免許の取得費用の補助や人材育成などを行います。また、金網柵などの設置費用の補助やイノシシの捕獲を

漁場改良事業

三原市漁業協同組合が、タコなどの水産物加工施設を整備する費用を補助します。また、あさりの育成に向けての調査、タコの産卵場所の設置、稚魚の放流などを行います。
.....2,823万円

起業支援・企業誘致

起業化を促進するセミナーを開催します。また、工場などの立地や雇用、生産設備への投資などに対する奨励金を交付します。
.....575万円

中心市街地の活性化

中心市街地内の空き店舗を利用して営業を始める人を引き続き支援します。また、駅前東館跡地の活用との整合を図りながら、中心市街地活性化基本計画を策定し、国の認定をめざします。
.....866万円

ヒヨウモンモドキの保護

絶滅の恐れがあるヒヨウモンモドキを保護するとともに、生息地の保全を図ります。
.....120万円

住宅用太陽光発電システムの設置費補助

太陽光発電システムを設置する住宅に補助金を支給します。1kW当たりの単価と補助金の上限額を見直し、補助件数を290件に増やします。
.....3,828万円

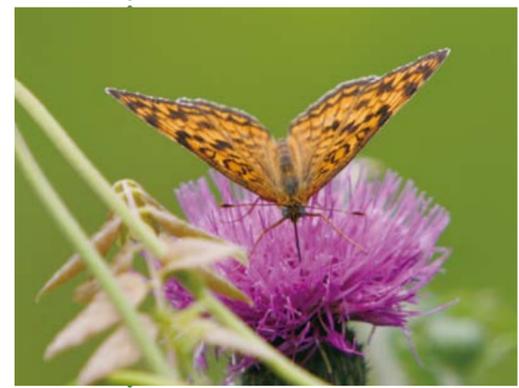
汚泥再生処理センターの整備

し尿や浄化槽汚泥の処理施設である浄化場を建て替えます。来年度の供用開始をめざして工事を進めています。
.....8億8,020万円

土地区画整理事業

東本通(本郷地域)の土地区画整理事業などを引き続き行います。現在、約

自然と共生する快適で安全なまち



▲絶滅の恐れがあるヒヨウモンモドキ

インタビュー

米持 清さん (久井町)

ヒヨウモンモドキを保護することが、ほかの生物も守っていくことのきっかけになるといいですね。そうした活動が、里山や川の保全にもつながると思います。

橋梁の長寿命化

長寿命化修繕計画に基づき、緊急度の高い6つの橋の修繕工事を行います。
.....5,200万円

生活航路の維持

生活航路を維持・確保するため、航路事業者に補助金を交付します。
.....2,304万円

地域公共交通の整備推進

路線バスや乗り合いタクシーなど、各地域における公共交通の維持・確保に向けて、引き続き取り組みます。
.....793万円

観光キャンペーン・PR

佛通寺でのコンサートなどのイベントの開催や、観光事業者への情報発信により、市の観光資源を広く紹介します。また、市内各所に統一感のある観光案内看板を設置するほか、外国語版の観光誘致パンフレットを改訂し、宣

交通・情報・観光基盤の充実した交流のまち

53%の事業が進んでいます。

公共下水道事業

公共下水道が使用できる地域を広げていくとともに、宗郷雨水排水ポンプ場の建て替え工事などを行います。
.....4億2,420万円

市営住宅の改修と耐震診断

老朽化した合併浄化槽を改修します。また、旧耐震基準で建てられた市営住宅について、2年間で耐震診断を実施します。
.....34億2,634万円

消防施設の整備

中之町下組地区に格納庫を、久井町泉地区に屯所を建設します。また、耐震性防火貯水槽や小型動力ポンプなどを順次整備します。
.....8,560万円

交流・定住の促進

中山間地域の活性化を図るため、地域の課題と解決方法について計画を策定します。また、大和地域における地域社会の新たな担い手として、地域おこし協力隊員を都市圏から募集します。
.....673万円

道の駅の管理

道の駅「みはら神明の里」の管理を行い、情報発信の拠点として観光・交流の活性化を図ります。
.....733万円

海フェスタの開催

7月14日(土)・29日(日)に、三原市、尾道市、福山市を会場として海フェスタを開催します。本市では、船の一般公開や航海体験、グルメフェスタなどを行う予定です。
.....2,182万円

インタビュー

住田 誠さん (本郷町)

空港へのアクセス向上を望みます。ビジネスチャンスも増え、集客のきっかけになると思います。また、空港に近接する場所に、新たな新幹線の駅を作ること考えてはどうでしょうか。



▲先月オープンした道の駅「みはら神明の里」